



LAMP (Loop-mediated Isothermal Amplification) 法

ベロ毒素 (VT) タイピング試薬キット



●腸管出血性大腸菌のベロ毒素を迅速にタイピングすることができます。

菌希釈液を調製後、抽出操作を含めて、2時間以内に検出することができます。

●腸管出血性大腸菌のベロ毒素 (VT1、VT2) 遺伝子の特異的に検出します。

腸管出血性大腸菌が保持するベロ毒素 (VT1およびVT2) の核酸配列を認識する、特異性の高いプライマーを使用しています。

●リアルタイム濁度測定装置で増幅から検出を1つのチューブで行います。

専用の「Loopamp リアルタイム濁度測定装置」を用いて、増幅から検出までをワンステップで行うことができます。また、電気泳動での検出を必要としません。

ベロ毒素(VT)タイピング試薬キット

Verotoxin Typing Kit

●本キットの製品概要

腸管出血性大腸菌 EHEC(Enterohemorrhagic *Escherichia coli* (*E.coli*))は、毒性の強いベロ毒素(Verotoxin;VT)を産生することからVTEC(Verotoxin-producing *E.coli*)と呼ばれています。このベロ毒素産生菌で汚染された飲食物等を介して経口感染し、出血性の下痢、腹痛、発熱などの食中毒症状を起こしますが、まれに溶血性尿毒症症候群(HUS)を併発し、死に至ることもあります。ベロ毒素には2つの遺伝子型(1型および2型)が知られていますが、Loopamp ベロ毒素(VT)タイピング試薬キットは、抽出試薬で簡便に抽出した核酸を、ベロ毒素遺伝子1型(VT1)および2型(VT2)に特異的なプライマーで認識・核酸増幅させ、その増幅の有無から、ベロ毒素をタイピングします。このタイピングの結果は食中毒発生時の原因調査などに利用することができます。

核酸増幅の検出は、増幅反応の副産物であるピロリン酸マグネシウム(白色沈殿物質)による濁度の増加を測定することによって行います。濁度測定には専用の「Loopamp リアルタイム濁度測定装置」を用います。

※ベロ毒素遺伝子の有無によって腸管出血性大腸菌を検出するには、Loopamp 腸管出血性大腸菌検出試薬キットをご利用いただけます。

●キット構成

ベロ毒素 (VT) タイピング試薬キット

[1] Extraction Solution for Foods(EX F).....	1.8 mL x 1 tube
[2] Reaction Mix. VT1(RM V1)	0.5 mL x 1 tube
[3] Reaction Mix. VT2(RM V2)	0.5 mL x 1 tube
[4] Bst DNA Polymerase(Bst DNA Polymerase).....	60 μL x 1 tube
[5] Control DNA VT1 (Cont V1).....	0.1 mL x 1 tube
[6] Control DNA VT2 (Cont V2).....	0.1 mL x 1 tube

()内は、試薬チューブに記載されている表示です。

●操作手順

※ LAMP反応前の試薬キットの操作については、氷上で実施すること。



※本キットの使用上の注意等詳細については、使用説明書をご参照ください。

※Loopamp リアルタイム濁度測定装置に関する内容は

Eiken GENOME SITE (<https://loopamp.eiken.co.jp/>)をご覧ください。

※本キットに使用する反応チューブは、必ず専用の「Loopamp 反応チューブD」をご使用ください。

●包装単位・貯蔵方法・有効期間・製品コード

製品名	包装単位	貯蔵方法	有効期間	製品コード
Loopamp ベロ毒素(VT)タイピング試薬キット	24テスト分	-20℃	1年間	LMP641

(別売) 反応チューブ

製品名	包装単位	貯蔵方法	有効期間	製品コード
Loopamp 反応チューブD	8 × 12 sets	室温保存	36カ月	LMP906
	8 × 120 sets			LMP907

注)本キットは臨床診断の目的では使用できません。

本キットは定性検出キットであり、定量測定目的に開発されたものではありません。